

# 「施設のバリアフリーに関するアンケート」 結果の報告

羽沢横浜国大駅周辺地域の愛着を育てるサインづくり推進会は、羽沢地区・常盤台地区の8つの自治会・町内会、横浜国立大学建築計画研究室、常盤台地域ケアプラザ・コミュニティハウスが一体となって、高齢者や身体の不自由な方も住みやすい地域作りを目指し活動しています。

地域まちづくりニュースNo.2で報告しましたとおり、2020年8月に「近隣の坂や道の愛称案」「施設のバリアフリーに関するアンケート」を実施しました。このページでは、施設のバリアフリーに関するアンケート結果（概要）を報告します。限られた紙面のため、ほんの一部しか紹介できませんが、各々の坂や道には沢山の意見が寄せられており、それらは管轄する自治会・町内会の回覧板でご覧いただく予定です。自分たちの住む地域・近隣地域の概況について興味を持って頂ければ幸いです。

## ■アンケート配布数と回収率

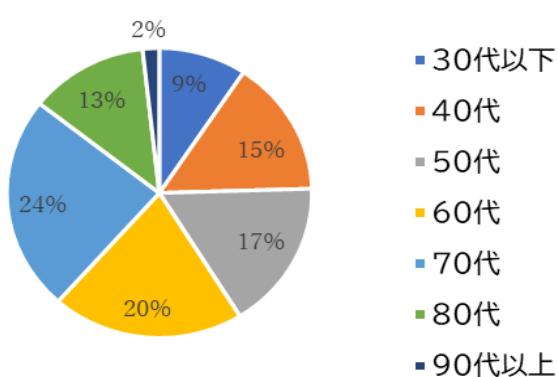
地区	配布数	回収数	回収率
常盤台北部地区	210	96	46%
常盤台住好地区	120	24	20%
常盤台西部地区	310	61	20%
常盤台中部地区	430	54	13%
常盤台東部地区	298	38	13%
羽沢南地区	1260	332	26%
羽沢第一地区	230	118	51%
羽沢星ヶ丘地区	400	164	41%
合計	3258	887	27%

それぞれの自治会・町内会によって回収率には差があります。羽沢横浜国大駅に近い常盤台北部地区・羽沢第一地区・羽沢星ヶ丘地区は40%超、そこから遠い地域は10~20%台の回収率になりました。

8地区合計で回収率は27%と低調なため、今後は住民の皆さんに興味を持って頂き、より多くのご意見を反映させていきたいと思います。

所属世帯数の多い羽沢南地区の声が概況報告には反映されています。

## 年齢構成



年齢構成は60代以上で半数を超えます。ただし、羽沢横浜国大駅開業ならびに3年後には新横浜駅を通る東急線の乗り入れにより交通の便は更に良くなります。駅前にはタワーマンションが建ちますので、現役世代が増加するのは間違いません。